

（2001年5月28日理事会決議）

2000（平成12）年度事業報告書

1.保護事業

(1) 河川保護事業

1) 河口堰問題

- ・ 河口堰問題小委員会 / 河口堰問題小委員会の検討結果を「河口堰の生態系への影響と河口域の保全」報告書にまとめるとともに、長良川河口堰の運用による河口域の自然回復を建設省中部地方建設局に提言（7月）。
- ・ 長良川河口堰 / 河口堰問題小委員会の報告書をもとに河口域の自然回復のための堰運用の改善を建設省河川局長に提言（9月）。
- ・ 利根川河口堰 / 国土交通省・水資源開発公団の総合評価検討委員会にオブザーバー出席し、同検討委員会の報告書案に対する意見を提出（1月）。

2) ダム問題

- ・ 川辺川ダム問題 / 川辺川ダム予定地の猛禽類調査、アユと付着藻類調査（自然保護助成基金助成事業）を実施し、それにもとづいた意見書を提出（1月、3月）。
- ・ 清津川ダム問題 / 公共事業抜本見直しを要望（8月）するとともに、ダム予定地の希少猛禽類の保全を要請（12月）。

3) その他

- ・ 千歳川放水路問題 / 千歳川流域治水対策検討委員会のヒアリングで意見陳述（1月）。

(2) 里やま保全事業

1) 愛知万博問題

海上の森万博問題小委員会・第3次報告書 / 愛知万博予定地とされた海上の森南地区の自然環境調査を緊急に実施し、南地区の自然の重要性をアピール（5月）。

当協会、日本野鳥の会、世界自然保護基金日本委員会の3団体および、愛知県、通産省、博覧会協会の合意に基く愛知万博検討会議に参加。その結果、愛知万博計画は大幅に見直された。

2) その他

中池見湿地 / 地元団体の主催するシンポジウムに協力。環境保全地区のあり方について大阪ガスと協議。

愛知県幡豆町 / 中部空港埋立用土砂採取の予定地となっていた愛知県幡豆町の里山の保安林解除に異議意見書を提出。

(3) 海辺保全事業

- ・三番瀬問題 / 計画の必要性の根拠が不十分であること、生態系・生物多様性保全、人と自然とのかかわりの視点から埋立予定地の干潟・浅海域自然の重要性、保全の必要性を指摘し、計画の根本的な見直しを求め、三番瀬の保全を求める意見書を提出。
- ・中部国際空港埋立問題 / 中部国際空港にともなう公有水面埋立アセスメントに対する意見書を提出。
- ・諫早干拓事業問題 / 諫早湾潮受堤防が水質・底質に与えた影響に関する緊急調査を実施、諫早干潟および有明海の環境回復に関する意見書を提出。

(4) 野生動物保護

1) 鳥獣保護法の改正

- ・環境庁野生鳥獣保護管理検討会 / 同検討委員会に委員として参加し、第9次鳥獣保護事業計画案に意見提出。
- ・尾瀬シカ対策検討委員会 / 同委員会に委員として参加し、尾瀬の植生保護と野生生物保護の両立に関する意見提出。
- ・野生生物保護法制定をめざす全国ネットワーク」に世話人として参加、一般向けのシンポジウムを開催。

2) 大型猛禽類保護

- ・熊本県川辺川ダム / 熊本県クマタカ生態調査グループとともに、ダムサイト周辺のクマタカの調査結果をまとめ発表。この調査結果をもとに、意見書を提出。
- ・岐阜県徳山ダム / 水資源開発公団の環境調査委員会に対してコメントを提出。

(5) 国立公園の保護と利用のあり方

- ・国立公園制度検討小委員会 / 国立公園における現状の問題点の整理と今後の方向性を提言するため国立公園制度検討小委員会を設置し、報告書「豊かな自然、深いふれあい、パートナーシップ～21世紀の国立公園のあり方を考える」を作成（11月）。
- ・映像機材を購入し（寄付金付郵便葉書等寄付金助成事業）、尾瀬保存期成同盟50周年記念シンポジウム・日本自然保護協会50周年プレシンポジウム / 「21世紀の国立公園のあり方を考える」を開催（11月）。

(6) 特定地域保護(沖縄地域)

- 1) 沖縄島北部やんばる / 米軍より返還予定の国有林(照葉樹自然林)の保護林指定を目標に、林野庁の委員会に委員として参加。
- 2) 辺野古地区米軍ヘリパッド問題で危機に瀕したやんばる地域のノグチゲラ・ヤンバルクイナ、普天間基地移設問題で影響を受けるジュゴンの保護に関して、日本野鳥の会、世界自然保護基金日本委員会とともにIUCN世界自然保護会議に決議案を提出、防衛施設庁の環境調査に関して情報収集。

3) 石垣島白保 / 新空港建設事業計画地の選定にあたり、コウモリ類の保全に関する意見書を沖縄県知事に提出するなど、自然保護の観点からアピールを実施。

(7) 地域NGO支援

- ・ 青森県 / 東北自然保護のつどいに参加。白神山地世界遺産地域管理計画の見直しに関する合意形成および関係省庁への働きかけに協力。
- ・ 岩手県 / 大規模林道川井～住田線に関し、みどり資源公団から猛禽類調査データを収集するなど地元自然保護団体に協力。
- ・ 新潟県 / 清津川ダム調査事務所との協議を行い、新潟県自然観察指導員会が参加する猛禽類調査に協力。
- ・ 栃木県 / 黒石市の希少生物保護条例に関して、オオタカ保護の視点を含めるよう、地元団体の要請に協力。
- ・ 千葉県 / 小櫃川河口盤洲干潟の公園計画に対して地元自然保護団体に協力。
- ・ 東京都 / 多摩丘陵のオオタカの保護に関して地元団体に協力。
- ・ 静岡県 / 三遠南信道予定線の猛禽類保護に関して地元自然保護団体に協力。
- ・ 大阪府 / 水と緑の健康都市開発事業の見直しに関して地元団体に協力。
- ・ 和歌山県 / 紀伊丹生川ダム予定地の猛禽類調査に関して地元自然保護団体に協力。
- ・ 徳島県 / 吉野川河口部沖洲埋立地の環境影響評価準備書に意見提出するなど地元自然保護団体に協力。
- ・ その他自然保護に関わる各種の催しに職員派遣等で協力。 <別表1.>

(8) 国際

- ・ 東アジア保護地域委員会運営委員会・草原セミナーに出席（8月モンゴル）。
- ・ 第2回世界自然保護会議（IUCN総会）に出席（10月ヨルダン）。

2.研究事業

(1) 「植物群落レッドデータ・ブック」の自然保護への活用（特定用途寄付積立預金活用事業、地球環境基金助成事業）

- 1) 植物群落保護の考え方と具体的な保全事例を示す「生態学からみた身近な植物群落の保護」の原稿作成、編集、出版準備を実施。
- 2) 自然保護セミナー「植物群落の生態学的管理」を開催し、植物群落保護の重要性と具体的な保全事例を紹介。
- 3) GIS（地理情報システム）の改善を行い、環境省自然環境情報との重ね合わせの準備等を実施。
- 4) 「植物群落レッドデータ・ブック普及版」（仮称）のリライト作業を進め、原稿を完成。出版準備を実施。

(2) 環境アセスメント「人と自然との豊かな触れ合い」についての研究

環境影響評価法における「人と自然との豊かな触れ合い」項目の具体的な調査、評価手法を検討したワークショップ報告書の作成作業を行い、発行準備を実施。

(3) 河川モニタリング

長良川河口堰モニタリンググループ(水質班)、吉野川環境ネットワーク(水質班)に機材貸与等の協力を行い、河川・浅海域の生態系保全基礎調査を実施。

(4) 自然保護ライブラリー(J . I N O U Y E 基金事業)

図書資料の受け入れ、整理、データベースとして管理利用の円滑化を継続。

(5) 研究・活動助成事業への協力 < 別表2. >

1) プロ・ナトゥーラ ファンド助成事業((財)自然保護助成基金との共同事業) を実施。

- ・「1998年度(第9期)助成成果報告書」の発行
- ・1999年度(第10期)助成管理及び成果報告会を開催(12/9、東京・こどもの城)。
- ・2000年度(第11期)助成の募集及び審査を行い、26件に助成。

2) 全労済・環境問題活動研究助成事業(全労済助成事業への協力)への協力

- ・2000年助成事業への協力。
- ・2001年助成の募集、広報への協力。

3. 普及事業

(1) 自然観察指導員養成制度のプログラム再構築とその実践 (自然保護助成基金助成事業)

指導員養成の目的、基本方針を具体的なプログラムの中に反映させるための検討と同時に各講習会・研修会を実施する講師や既に指導員として全国各地で中心的に活動している人々と共有するため、以下のことを実施。

1) 自然観察指導員養成講師会議

講習会テキストの改訂および自然観察指導員全国大会の実施のため、講師会議を実施(8月24-25日)。

2) 自然観察指導員全国大会(新潟)

新潟県自然観察指導員の会との共催で、2月10日から12日の間、新潟市、佐潟に隣接する新潟厚生年金スポーツセンターにおいて開催。全国から153名の指導員が参加

し、各地での活動を発表、活発な意見交換が行われると同時に、自然観察指導員の目標を確認。

3) 自然観察指導員講習会テキストの改訂

2001年度の講習会から使用するテキストの改訂のため、講習会講師陣による討議、執筆・編集作業を実施。

4) 自然観察指導員パンフレットの作成

一般や自治体、NPOにNACS-J自然観察指導員制度について普及し、参加や共催を促すための多色刷りのパンフレットを作成し、広く配布。

(2) NACS-J自然観察指導員講習会の開催 <別表.3>

計12回実施し、695名が受講。第1回目からの総受講者数は、計17,278名となった。

(3) NACS-J自然観察指導員研修会の開催 <別表.4>

NACS-J自然観察指導員のフォローアップとして計4回開催し、88名が参加。

(4) 自然観察会の開催

1) ネイチャア・フィーリング自然観察会（新宿御苑）

4月29日みどりの日に、「新宿御苑みどりの日の集い」の一環として実施。

2) 全国一斉自然観察会

6月の環境月間を中心に、「人と自然のかかわり・つながり」をテーマに開催を呼びかけ各地の自然観察グループにより実施。

3) フィールドセミナー - 「スノーケリングによる海の自然観察」

会員を主な対象として、相模湾海洋生物研究会の協力を得、横須賀市天神島において7月14日～16日に実施（参加者15名）。

(5) 全国自然しらべ2000「私たちの川」

「私たちの川」調査マニュアルを作成し、会員・指導員・学校関係・一般に配布やインターネットで、参加を呼びかけ（7月～9月）。その結果、全国4000名以上が参加、2470カ所の報告を得た。データ解析ととりまとめを行い、ポスターとして参加者・会員・指導員等に配布。

(6) NACS-J刊行物・協賛商品等の作成と頒布

会員サービス業務の一環として、通年および期間限定の通信販売を継続。

4. 『自然保護』 発行事業

(1) 『自然保護』の発行（日本自転車振興会補助事業）

特別号（36ページ）を年4回（4,7/8,10,1/2月）、通常号（20ページ）を年6回（5,6,9,11,12,3月）21,000部発行。

・ 特集タイトル / 主な掲載記事

第445号（4月号）特集「カエル！」

第446号（5月号）海上の森での万博計画?通産大臣・県知事と会談

第447号（6月号）全国一斉自然かんさつ会の案内 / しぜんテイナー（各地の観察会紹介連載） / 新評議員紹介

第448号（7/8月号）特集「川とつきあう」 / NACS-J活動レポート2000

第449号（9月号）海上の森での万博に愛知万博検討会議が出した結論

第450号（10月号）特集「エイリアン・スピーシーズ」 / 熊本・川辺川で育つ尺鮎の謎?この緊急調査をご支援ください

第451号（11月号）IUCN総会報告?海上の森、ジュゴンについての決議 / P.N. ファンド助成先決定

第452号（12月号）白神山地世界遺産地域に新たな管理計画を / 「新・環境基本計画」に意見提出

第453号（1/2月号）特集「地球へつなぐ大実験“コリドー”」 / 「植物群落の生態学的管理」セミナー開催報告

第454号（3月号）沖縄県・新石垣空港コウモリの生息環境保全を / 自然観察指導員アンケートの結果報告

(2) 『自然保護』合本の作成

資料用として『自然保護』2000.4月～2001.3月号の合本を作成。

5. 広報事業

(1) 会員拡大企画のための基盤づくりと活用

1) 入会案内パンフレットの活用

入会案内パンフレット（個人会員用）を全国に配布。ネイチャー・インやアウトドアショップをはじめとするパンフレット常設コーナーを全国で開拓し、定期送付（年3回・350ヶ所）を実施。

2) 活動紹介パネルの活用

NACS-Jの活動紹介パネル（6枚組、B全）を作成、イベント等で掲示。

3) 会報発送用の封筒に「会報見本誌プレゼント」告知を入れ、会員に知人紹介を依

頼。

(2) 入会案内情報の広報

1) 情報のリリース

NACS-J各部の活動を各種媒体にリリースし、入会と寄付の呼びかけを実施。

2) 外部イベントへの協力を通じた入会告知

世界環境デーフェスティバル（6/3-4）、エコライフフェア（6/10-11）、夢の技術展での三菱自動車の展示に協力（7/21）、里山から考える21世紀（10/20-11/2、10/28-29）、エコプロダクツ（12/10-12）、わたせせいぞう作品展（12/24-1/9）、地球環境映像祭（3/1-3）、東京アウトドアズフェスティバル（3/23-25）に協力し、入会案内を配布。また企業のキャンペーン事業と提携し、入会・寄付の呼びかけを実施(EASTBOY等)。

3) その他外部事業への協力を通じた入会告知

朝日新聞社ホームページへの協力、環境gooホームページへの協力、airFMへの番組出演、ラジオ出演（FM-FUJI、ニッポン放送、FM山形等、）、松竹映画「学校?」（11月から上映）、日本リサイクル協会（11月）に協力。

4) 広告制作への協力を通じた入会告知

朝日新聞（8月、1月、3月）の企画広告に協力し、会員募集を告知。

(3) 寄付の拡大

1) インターネットを利用した寄付システムの検討を継続。

2) 企業その他団体のキャンペーンやイベントによる寄付企画を実行。

NTT-Xカード利用ポイントによる寄付、共和食品（8-2月）、フェリシモ（5月）、富士ゼロックス（5月）、ブリヂストンFVS（7月から継続）、ロペライオ（8月から継続）、東京オペラ協会（12/5）、AFLAC（12/21）、三井海上チャリティコンサート（12/9）、三井海上火災ハートクラブ（3月）、デロリアンコミュニケーションズ（3/18）にて実施。

(4) 電子媒体による情報発信システムの運営(牧田基金事業、地球環境基金助成事業)

1) NACS-Jホームページ

NACS-Jの発表資料等を発表と同時に全文掲載。過去の発表資料も順次掲載中。

2) 電子メール「自然保護ニュース」

NACS-Jの活動を中心に、概ね週1回無料配信（登録者約3,400人）。

(5) 2000年度「自然しらべ」の広報への活用

- 1) 「自然しらべ」を個人会員拡大キャンペーンと位置づけて企業協賛を呼びかけ、30社から協賛を得た。企画を打診した約400社と恒常的な情報連絡関係を構築。
- 2) 参加者募集広告（朝日新聞7/1は有料、10誌・バナー広告は無料）を実施。
- 3) 全国3000の小中高校の電子メールアドレスをデータベース化し、情報を提供。

(6)その他外部事業への協力

近畿弁護士会のヒアリングに対応（7/6）、安田火災海上の奨学生派遣プロジェクトの学生2名を受け入れ（7-2月）、慶応大学AIESECのイベントで講演（8/20）、伊藤忠自観察会（11/17）、めっせTOKYO2001で講演（2/16）、国立環境研究所のヒアリングに出席（2/28）、修学旅行への対応（3校）。

(7)50周年事業準備

外部アドバイザーとのミーティング、協力者への協力依頼、協賛社獲得、キャンペーンコピー・キャンペーンマークの作成準備を実施。

6.委託事業

(1)和光市白子地区湧水地自然環境調査（和光市請負事業）

絶滅危惧種として記載されている（埼玉県レッドデータブック）カワモズクが生育する湧水地の自然環境の現況を把握し、保全のための課題を明らかにするために、水文・地質、水生生物、植生の各項目について調査を実施。

(2)人とのふれあいの観点からの里地自然の保全方策策定調査（環境省請負事業）

全国の自然観察活動や里山保全活動等、人と自然とのふれあいを目的とした保全・利用事例を、アンケート調査により把握。また、その調査結果を解析し、二次的自然環境地域の保全・利用を行う上での課題抽出、保全・利用の考え方を検討。

(3)生態系総合モニタリング調査解析等業務（環境省請負事業）

第4回及び第5回自然環境保全基礎調査で得られた5道県のデータ集計、比較・解析。また、解析結果をもとに次回調査の調査内容、調査方法等について検討。

(4)緑の回廊における野生動植物種相互間の関係の把握手法に関する調査（林野庁委託事業）

緑の回廊におけるモニタリング調査項目のひとつである野生動植物種相互間の関係

把握手法に関する調査について、調査内容を検討、実験的試行用「モニタリング仮マニュアル」を作成。

(5) 国際生物多様性情報収集業務（環境省請負業務）

国際会議における情報収集（8月東アジア保護地域委員会、10月世界自然保護会議）、IUCN文献リストおよび主要文献の翻訳（IUCNおよび委員会紹介パンフレット）、IUCN日本人委員リストを作成。

(6) 農業との関連で見た環境保全の現況調査（環境事業団委託事業）

(7) 小笠原村南島自然環境調査（東京都環境局委託事業）

(8) 地球環境市民大学校自然保護講座（環境事業団委託事業）

3月16日～18日に群馬県利根郡新治村で実施。

7.50周年記念事業

(1) 50年誌の制作作業を開始(事業実施積立預金活用事業)。

(2) 日本自然保護協会沼田眞賞（仮称）の創設に関し、委員会を設置し詳細を検討。

8.基金、助成金、積立預金等による事業（前頁までの各事業を基金・助成金・積立預金別に再整理）

(1) 藤原基金事業

研修、国際会議等に活用。

(2) 牧田基金事業

広報・会員拡大事業に活用。

(3) 井上基金（J. INOUE 基金）事業

自然保護ライブラリーの運営、図書資料の収集整理に活用。

(4) NACS-J自然保護寄付事業

特定課題保護事業に活用。

(5) PRO NATURA 寄付金事業

プロ・ナトゥーラ ファンド助成事業の運営に活用。

(6) 自然保護助成基金助成事業

- ・ NACS-J自然観察指導員講習会・講師養成に活用。
- ・ 熊本県川辺川アユ生育環境調査（一部）に活用。

(7)寄付金付郵便葉書等寄付金助成事業

シンポジウム開催に伴う映像機材の整備に活用。

(8)地球環境基金助成事業

- ・植物群落セミナーの開催に活用。
- ・インターネットにおける環境保全データベースと情報交流ネットワークの構築に活用。

(9)日本自転車振興会補助事業（特別会計事業）

印刷費・原稿料の1/2の補助を受け、『自然保護』を発行（年10回、各21,000部）。

(10)特定用途寄付積立預金事業（NTTデータ通信（株））

「植物群落レッドデータ・ブック」の自然保護への応用に活用。

(11)事業実施積立預金事業

50周年記念事業・50年誌の制作に活用。

別表1.> 自然保護に関わる催事等への後援・協力を一覧ノ

（ ）内は主催団体と開催時期

- ・自然体験「サンゴ・スノーケリング」教室（高知大手の浜なぎさの会、7/20）
- ・圏央道反対3000人集会（高尾山の自然をまもる市民の会・裏高尾圏央道反対同盟、7/23）
- ・環境影響評価研修（国立環境研修所、8/1）
- ・霞ヶ浦北浦流域文化交流会（アサザ基金、8/23,26,27 2/17）
- ・東京湾まち育てコンテスト（SAVE2000実行委員会、2000年9月～2001年2月）
- ・移入生物問題を検討するワークショップ（生物多様性JAPAN、9/2、1/6-7）
- ・愛知万博市民の叢智～開かれた21世紀の扉シンポジウム（シンポジウム実行委員会、9/3）
- ・平成12年度環境研修（水資源開発公団、9/6）
- ・第6回森林と市民を結ぶ全国の集い（国土緑化推進機構、9/15-17）
- ・酒匂川水系の環境を考えるシンポジウム（酒匂川水系の環境を考える会、10/7）
- ・国際湿地シンポジウムin沖縄（国際湿地シンポジウム沖縄実行委員会、10/14-15）
- ・平成12年度島根県自然解説員研修（島根県、10/21-22）
- ・せたがやトラストウィーク2000（せたがやトラスト協会、10/24-29）
- ・第54回全国レクリエーション大会inぐんま（日本レクリエーション協会、10/28）
- ・JPCC湿地と里山の自然学講座（日本泥炭湿地保全協議会、2000年10月～2001年4月）
- ・環境教育ミーティング中部2000inいしかわ（石川県、11/10-12）
- ・第5回ゼロエミッション塾（電通P&D局プロジェクト開発部、11/17）
- ・第13回日本の森と自然を守る全国集会（日本の森と自然を守る全国連絡会、11/17-19）

- ・平成12年度環境研修(林野庁森林技術総合研修所、11/20、2/27)
- ・第5回世界閉鎖性海域環境保全会議(国際エメックスセンター、11/23)
- ・埼玉県自然観察指導員研修会(埼玉県、11/25-26)
- ・第1回ブラックバス問題シンポジウム(同実行委員会、12/3)
- ・12.3ムダ公共事業～東京湾でも集会(三番瀬DO会議他、12/3)
- ・環境就職・進路相談会(同実行委員会、12/3)
- ・群馬の自然を考えるシンポジウム(放送大学、12/9)
- ・2000年度霧が峰自然観察会(霧が峰自然観察会)
- ・平成12年度自然保護研修(林野庁森林技術総合研修所、1/24)
- ・環境情報研修(環境研修センター、2/20)
- ・霞ヶ浦とラムサール条約を考えるシンポジウム(霞ヶ浦市民協会、2/25)
- ・はるかなる日高山脈～原始の自然を未来へシンポジウム(日高山脈シンポジウム実行委員会、3/3)
- ・2001九州環境教育・久住高原ミーティング(同実行委員会、3/3-4)
- ・研修会「子供たちに残したいものは」(東海の自然を考える研修会、3/10-11)
- ・ムダな公共事業ストップ～財政問題と三番瀬集会(三番瀬を守る署名ネットワーク、3/11)
- ・平成12年度野生生物保護研修(林野庁森林技術総合研修所、3/27)

<別表3.> 自然観察指導員講習会開催地一覧

No.	開催日	開催地	会場	共催団体	参加者数
284	6/2-4	埼玉県	国民宿舎入間グリーンロッジ	NACS-J主催	50
285	6/9-11	神奈川県	県立芦ノ湖キャンプ村	神奈川県自然観察指導員連絡会	74
286	7/14-16	北海道	おたる自然の村	(社)北海道自然保護協会 北海道自然観察指導員連絡協議会	62
287	9/1-3	新潟県	県立こども自然王国	新潟県	62
288	9/15-17	青森県	青森県青年の家	青森県自然観察指導員連絡会	61
289	10/6-8	佐賀県	波戸岬少年の家	佐賀県	52
290	10/20-22	熊本県	休暇村南阿蘇	熊本県	52
291	10/28-30	静岡県	県立森林公園及び森の家	静岡県	58
292	11/10-12	千葉県	国民宿舎清和	千葉県	61
293	11/24-26	島根県	国立三瓶青年の家	島根県、島根県三瓶自然館	63

294	12/1-3	神奈川県	天神島ビジターセンター 佐島マリーナ	NACS-J主催	52
295	7/7-9	宮崎県	御池少年自然の家	環境庁九州地区自然保護事務所 えびの高原ボランティアレンジャーの会	48

<別表4.> 自然観察指導員研修会開催地一覧

開催日	研修会名	開催地	会場	共催団体	参加者数
9/30-10/1	ネイチャーフィーリング研修会	秋田県	森林学習交流館	秋田県	42
11/4-5	九州地区フォローアップ研修会	大分県	バルクラブ	九州自然協議会	22
3/3-4	雪上自然観察研修会	福井県	奥越高原少年自然の家	福井県自然保護センター 福井県自然観察指導員の会	17
3/24-25	はじめの一步研修会	徳島県	ブルーヴィラ 穴吹	とくしま自然観察の会	24

Copyright(c)2003 THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN, All rights reserved.